

やまぐち 市議会だより



地域を守る
暮らしを守る

定例会ピックアップ	3
議案の審議結果	5
委員会ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	15

～コロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策～

これまで市では、令和3年度補正予算と令和4年度当初予算において経済対策第11弾、第12弾と一体的に取り組んできましたが、さらに本市独自の追加対策の検討が進められ、7月25日、生活者支援や事業者支援を柱とする山口市新型コロナウイルス感染症経済対策第12弾の「拡充版」（総額約17億円）を取りまとめ、公表しました。

今定例会において関係議案を承認し、これにより第12弾全体の予算総額は約41億6,000万円となりました。



経済対策第12弾
市公式
ウェブサイト

暮らしと 地域経済を 支える

生活者支援（抜粋）

- 子育て世帯生活応援商品券の配布 【4億2,500万円】
子育て世帯の家計を応援するため、高校生以下の子どもがいる世帯を対象に市内で利用できる商品券を子ども1人につき1セット（13,000円分）を送付したものです。

- 家計を応援「エール！やまぐち」プレミアム共通商品券の発行 【4億3,000万円】

家計の負担軽減と市内経済の回復を図るため、7月1日に発売を開始している共通商品券について、申込者全員が希望するセット数を購入できるように対応したものです。

事業者支援（抜粋）

- 農業・漁業者への支援 【2億3,600万円】
燃料・資材・飼料価格の高騰に対応するため、肥料代、省エネ対策経費、畜産農家の飼養経費の一部を県事業と一体となり支援するものです。また、デジタル技術を活用したスマート農機等の導入支援や、漁業者への燃料・飼料費支援も実施します。

- 中小企業等への支援 【2億1,900万円】
中小企業等の資金繰りを支援するため、市の制度融資において新たな融資枠を設けるとともに、既存の支援制度を拡充するものです。
また、市内タクシー事業者への交通系ICカード導入に係る経費の支援も実施します。

指摘・要望

- 生活者や事業者への経済対策支援を1日でも早く届けるため、しっかり迅速に対応されていると評価している。今後も、物価高騰等への経済対策などの実施に向けて鋭意取り組まれるよう求める。

定例会最終日、補正予算議案が追加上程され、全会一致で可決しました

- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 【12億6,480万円】
国が「物価・賃金・生活総合対策」において取りまとめられた追加対策を踏まえ、令和4年度の住民税均等割が非課税である世帯等を対象に1世帯当たり5万円を給付するものです。

これには、経済対策第12弾拡充版の中の生活者支援（物価高騰対策一時支援金の給付≪本市独自での給付1世帯当たり1万円≫）を合わせ、11月に合計6万円を給付予定です。

2022年
9/5～10/6

上程された議案

予算

6件

条例

10件

事件議決

8件

決算認定

16件

諮問

4件

指摘・要望

- 予算執行に際しては、今回の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金を優先的に活用し、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金については、財源を必要とする諸事業への振り分けを行うなどの取扱いを求める。

議案第6号ほか

徳地総合支所の

新庁舎が11月に完成!

建て替え中であつた徳地総合支所が11月に完成します。

現在の徳地地域交流センター周辺に、徳地地域複合型拠点施設として「総合支所」「文化ホール」「保健センター」「資源物ステーション」「地域交流センター」「診療所」「消防車庫」が一体整備されるもので、今定例会に総合支所の位置の変更等に係る条例改正議案が上程され、可決しました。

庁舎内に診療所が設置されるのは県内でも先進的な事例となります。新しい拠点施設をしっかりと活用し、にぎわいと交流を生み出し、地域福祉と住民サービスのさらなる向上が期待されます。

- 指摘・要望**
- 新庁舎への引っ越し、市民サービスの開始をスムーズに行い周知を図ることで、地域住民が混乱することのないよう取組を求める。



9月定例会

ピックアップ pick up

議案第20号 阿東地域に強い味方 除雪用のモーターグレーダー 4年ぶりに新しく!



除雪用のモーターグレーダー
モーターグレーダーに除雪用のブレードを装備。道路上の雪を寄せたり、でこぼこに積もった雪を削って平らにしたりして自動車が道路を走りやすいようにする車両。

阿東地域の市道の除雪を担う既存のモーターグレーダーは、昭和53年に購入したもので老朽化が進んだことから、新たな車両を取得するための議案が上程され、可決しました。

この新車両は排気ガス浄化装置の進歩による排ガスのクリーン化と操作性の向上が期待されます。そして積雪時には市道はもとより県道、国道の除雪がスムーズに進み市民の安全確保に一役買うこととなります。

問 既存のモーターグレーダーとの2台体制によって、除雪作業の効率化を図ることはできないか。

答 既存の車両は故障箇所の交換部品もなく、これ以上の運行はできない。このたびの更新で下取りとなる。

9月定例会

ピックアップ pick up

議案第7号・8号・9号 地方公務員法の改正に伴う 条例改正 市職員の定年延長

平均寿命の伸びや少子高齢化を踏まえ、豊富な知識・技術・経験等を持つ高齢期の国家公務員の定年引上げに伴い、地方公務員の定年も60歳から65歳まで、2年に1歳ずつ段階的に引き上げられるため、関係する条例を改正する議案を可決しました。

①役職定年制の導入

②定年前再任用短時間勤務制の導入
：本人の希望による

③情報提供・意思確認制度の新設
：60歳になる前年度に情報を提供

し、以後の意思確認をするよう努めるもの

④給料月額7割水準
などを盛り込んだ改正となります。

高齢者雇用安定法の改正により、70歳までの雇用確保の努力義務が新設され、社会全体の定年引上げが進んでいます。



指摘・要望

- 一時的に職員定数を超えてでも、毎年、弾力的に職員の新規採用を行うべきと考える。
- 経験豊かな職員の知見や技術などを若手職員にしっかりと継承していく、人材育成の視点の強化を求める。



議会で厳しく チェックしました。



決算が認定されるまで

令和4年

3月末

令和3年度事業終了

5月末

出納閉鎖(会計処理に要する期間)

市が決算書類を作成

監査委員による決算監査

9月5日

定例会開会

市長が決算(企業会計に係る議案を提出

9月15日

市長が決算(一般会計・特別会計等)に係る追加議案を提出

予算決算委員会の開催
説明・審査

10月6日

採決(決算の認定)

令和3年度は新型コロナウイルス感染症に対応した予算となっていました。その予算について、果たして正しく執行されたのか、事業目標は達成したのか、各議員の様々な視点から審査を行いました。想定を超えて長引くコロナ禍の影響で、令和2年度と同様に、令和3年度も事業の未実施や内容の見直し、規模の縮小などが行われ、予算の一部が執行できなかった事業もありましたが、その理由等、それぞれの常任委員会において詳細を確認し、審査の結果、全会一致で認定しました。



意見・指摘

地域づくり交付金のさらなる活用を！

- コロナ禍でイベント等が実施できずに事業費が不執行となることについては、これを機に交付金の使途を見直すなど、多様な地域住民の意見が反映された、真に地域づくりに資する事業となるような取組を求める。

水道、下水道の安定したサービスを！

- 老朽化した水道施設の更新、宇部・阿知須公共下水道組合からの阿知須処理区の引継ぎにおいても、計画的・安定的な事業運営が行われている。引き続き着実な事業運営に取り組まれることを求める。

人材の確保が喫緊の課題！

- 学校現場の補助教員や放課後児童クラブ支援員、あるいは介護保険調査員といった人材が確保できず、当初の計画どおりに事業が実施できていない。着実な事業実施のため、専門人材の確保に注力いただきたい。

デジタル技術の活用を速やかに！

- 市税等の徴収においては、口座振替率が横ばいである一方、スマートフォンアプリを活用した電子納付の件数が大幅に伸びていることを確認した。今後の事業展開に注目している。

事業の成果を的確に評価できる仕組みづくりを！

- 主要な施策の成果報告書については、前期基本計画の最終年度となる令和4年度の決算時に、目標達成度合いを把握しやすい適切な指標への見直しが難しい事業について、事業意図が明確に把握可能で取組を正確に評価できるような工夫を求める。
- 令和5年度から始まる後期基本計画の策定に合わせ、指標などの記載事項の改善に加えて、政策の評価に資する適切な事業が成果報告書に掲載されるよう見直しを求める。また、計画期間中であっても指標の見直しや追加設定を柔軟に修正可能とするなど、適切で円滑な審査につながる仕組みについても検討を求める。

決算額等の詳しい内容は、「市報やまぐち11月号」をご覧ください。



市公式ウェブサイト

■ 全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和4年度山口市一般会計補正予算(第4号)
 - 令和4年度山口市介護保険特別会計補正予算(第1号)
 - 令和4年度山口市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
 - 令和4年度山口市地域下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 - 令和4年度山口市公共下水道事業会計補正予算(第1号)
 - 令和4年度山口市一般会計補正予算(第5号)
- 2ページに関連記事あり

条 例

- 山口市総合支所設置条例の一部を改正する条例
3ページに関連記事あり「徳地地域複合型拠点施設」
- 地方公務員法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
3ページに関連記事あり「定年延長」
- 山口市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
3ページに関連記事あり「定年延長」
- 山口市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
3ページに関連記事あり「定年延長」
- 山口市徳地文化ホール設置及び管理条例の一部を改正する条例
3ページに関連記事あり「徳地地域複合型拠点施設」
- 山口市放課後児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例
3ページに関連記事あり「徳地地域複合型拠点施設」
- 山口市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
3ページに関連記事あり「徳地地域複合型拠点施設」
- 山口市地域交流センター設置及び管理条例の一部を改正する条例
3ページに関連記事あり「徳地地域複合型拠点施設」
- 山口市徳地山村開発センター設置及び管理条例を廃止する条例
3ページに関連記事あり「徳地地域複合型拠点施設」

事 件 議 決

- 山口市スポーツの森西京スタジアム天井・屋根等改修工事の請負契約の締結について
- 山口市小郡屋内プール天井・屋根等改修工事の請負契約の締結について
- 秋穂漁港海岸(大海地区)海岸保全施設整備工事の請負契約の締結について
- 鑄銭司第二団地整備工事の請負契約の一部を変更することについて

議案の審議結果

- 除雪用グレーダの取得について

3ページに関連記事あり

- 山口市立小中学校教育用コンピュータ等の取得について
- 山口市立小中学校校務用コンピュータ等の取得について

決 算 認 定

4ページに関連記事あり

- 令和3年度山口市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和3年度山口市簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和3年度山口市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和3年度山口市農業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和3年度山口市漁業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和4年度山口市一般会計補正予算(第3号)に関する専決処分について
- 令和3年度山口市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度山口市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度山口市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度山口市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度山口市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度山口市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度山口市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度山口市国民宿舎特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度山口市特別林野特別会計歳入歳出決算の認定について

諮 問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について(敬称略)
- 藤原 薫(再任) 大來 和子(再任)
山本 美知子(再任) 藤井 真哉(再任)

人権擁護委員

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱されたボランティアの人たちです(任期は3年)。市長が適任者を選任して推薦するにあたり議会の意見を聞くこととされており、このたび全会一致で「異議なし」としました。人権擁護委員の詳しい紹介は、市公式ウェブサイトをご覧ください。



山口市議会では、「総務」「教育
民生」「生活環境」「農林建設」「予
算決算」の常任委員会を設置し
各委員会が所管する部局の議案
や業務等の審査・チェックをしてい
ます。

各委員会の所属議員、
所管する部局、日程など、
詳しくは市議会ホーム
ページに掲載しています。



中央消防署の建て替えに向けて

総務
委員会

消防本部の新北庁舎への集約に伴い、現在、消防本部と一体となっている中央消防署の建て替えに向けた検討を進めている。



現在の庁舎は、築後47年が経過し、老朽化とともに、緊急車両の大型化等に伴い狭隘となるなどの課題を抱えており、こうした課題解決と災害対策機能を十分に発揮するための検討が必要となる。そのため、整備にあたっては、本部内に検討委員会等を設置し、消防職員を対象とした機能に関するアンケート調査や最新消防庁舎の視察などを行い、その情報を踏まえ、現在地での建て替えを基本とした施設や規模、配置、必要とする機能の整理を進めている。

建て替え期間中においても、切れ目のない出勤体制を確保するため、引き続き、より良い方法を検討していく。

(担当部局…消防本部)

問 現在地での建て替え整備にあたり、仮設庁舎を建設するとなると、工事車両や既存庁舎の解体など、緊急出動に大きな影響が出ることが想定されるが、いかがか。

答 現在地で業務を継続しながら、同敷地内に仮設庁舎を建てるのは難しいと認識している。業務に支障がないよう、別の方法についてもしっかりと検討していく。



JRローカル線の存続に向けた阿東地域としての取組は

JR西日本は輸送密度が1日2千人未満の線区と収支率（不採算路線）を公表され、山口線の宮野駅から津和野駅が含まれている。今後の在り方が検討される中で、山口線が阿東地域にとつての大切な資源であることを再認識するとともに、地域住民の利用促進や、車両に向かって手を振る・乗客を歓迎するためのマルシェを開催するなど自主的で持続的な取組を行っていききたい。

(担当部局…阿東総合支所)



駅のホームで乗客を歓迎する地域住民のみなさん



共に暮らしやすい多文化共生社会の実現

生活環境
委員会

外国人のための日本語講座、日本語ボランティア養成講座など、多文化共生に関する各種講座等を実施している。令和3年度はコロナ禍で中止となった講座もあったが、外国にルーツを持つ（日本語が第一言語でない）子どものための日本語講座の開催回数は増えている。今後お互いの文化の違いを認め合い、共に暮らしやすい多文化共生社会の実現に取り組んでいく。

(担当部局…交流創造部)

委員の意見

- ・講座参加者の年齢層や属性が偏っているものが見受けられる。大学や学生サークルとの連携など、積極的な取組を求める。
- ・外国人市民と地域住民が交流することで、お互いの理解と親睦が深まるよう、清掃作業などの地域行事へ参加しやすい仕組みをつくってはいかがか。

委員の意見

- ・いわゆる「撮り鉄」の方とも連携して、撮影スポットの整備や魅力の発信に取り組んでみてはいかがか。

生活環境
委員会



コロナ禍、 障がい者支援を力強く！

令和3年度は、コロナ禍の影響もあり「障がい者福祉の充実」に係る取組の各種指標の数値（令和3年度主要な施策の成果報告書の各指標である就労している障がい者の割合、障害福祉サービスを利用している障がい者の割合、障がい者スポーツ・文化活動への参加者数）が目標値に比べ伸び悩んでいる状況である。今後、国の「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」等の考え方も踏まえ、アフターコロナに向けて、関係機関や他部局とも連携しながら、しっかりと支援していきたい。

（担当部局：健康福祉部）

委員の意見

- ・コロナ禍の様々なマイナスの影響が、障がいを抱える方々に、より顕著に表れていると考えられる。予算編成時から新型コロナの影響下にあった令和3年度の取組を改めて精査し、今年度の取組、後期基本計画・次期障害者計画に生かされることを望む。



マイナンバーカードの健康保険証 利用、準備状況と国保の対応は

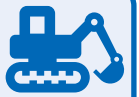
教育民生
委員会

厚生労働省が公表している資料によると、市内では、9月時点で55の医療機関、39の薬局が健康保険証利用に対応している。また、健康保険証利用の申込みのうち、国保加入者は7月時点で3434人。現在の国民健康保険証の発行は、当面の間、継続するので、マイナンバーカードを保険証として持ち歩くことに不安を感じている方にも安心していただきたい。

（担当部局：健康福祉部）

委員の意見

- ・従前の保険証が発行されないとの不安の声があった。従前と変わらずに発行されることなど情報の周知に努めるべき。



農道や水路等に対する 単市土地改良事業補助金の見直し

農道や水路等の法定外公共物については、地域づくり交付金が創設された際に事業の対象施設等が整理されたため、単市土地改良事業は農業用施設に特化した形で実施している。営農が継続でき、地域の活性化に繋がるよう、農業者の方々の意見を伺い、どのような支援策が必要なのか、法定外公共物に対する支援策を展開している関係部署と情報共有、連携し、まずは現状を把握していく。

（担当部局：農林水産部）

委員の意見

- ・事業内容の見直しを図る時期にきているのではないかと。



原油価格、物価高騰等の影響を 受けている事業者等への支援

農林建設
委員会

山口県農業協同組合からの要望や市内の事業者、農林水産業関係者等からのヒアリング、6月定例会での議論や意見を踏まえ、独自の追加対策の検討を行い、支援策を取りまとめた。農業者や漁業者への支援について、関係機関と調整しながら、相談窓口や申請窓口を開設し、申請受付を早期に開始している。また、タクシー事業者への交通系ICカードの導入を支援することで、市内全体の公共交通環境の向上や市内の周遊性を促進していきたい。

（担当部局：都市整備部・農林水産部）

委員の意見

- ・この時期に非常に有効な事業である。
- ・関係者等への丁寧な対応と制度の周知をお願いする。



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁をあわせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コードから見るができます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。

行政 後期基本計画のプロジェクトの方向性は!



現時点でのプロジェクトの方向性として、子ども・子育て、若者活躍と雇用創出、農山村づくりと21地域づくり、元気な県都づくり、人生100年時代の健康長寿、持続可能な未来都市づくりの6つの領域における検討を考えている。

答 今後、課題を総括的に整理した骨子案を10月に、施策別計画や重点プロジェクトを加えた素案を11月に示し、12月市議会で見解を求めたい。その上で最終案を来年1月に提示し、3月市議会での議論、基本構想についての議決を経て、3月末に策定したい。

問 第二次山口市総合計画後期基本計画の策定スケジュールを問う。また、策定の方向性とプロジェクトの方向性を伺う。

未来志行山口
原 真也
はら しんや

協働 小鯖地域交流センターの建て替えと機能複合化



現在の小鯖地域交流センター

答 小鯖地域交流センターについては、バリアフリーへの対応がなされておらず、施設面積も狭く、災害時の避難所として収容人数が限られるなどの課題があり、地域拠点づくりの整備が進んでいない状況にある。今後、機能複合化などの考え方も加えた形で地域の皆様の御意見を伺いながら、後期基本計画に位置付け、整備を進めていく。

問 地域から要望があった小鯖地域交流センターを現在のJA小鯖支所の位置に移転新築し、その中の機能として、JA、郵便局との併設、そして道の駅を新設し機能を追加していくことについて、市長の考えを伺う。

県都創生山口
重見 秀和
しげみ ひでかず

福祉 障がい者の就労支援の取組を!



答 カフェについては、障がい福祉サービス事業所に出店していただける可能性についても検討している。また、新本庁舎棟の清掃等の維持管理業務についても、障がい者の働く場の創出につなげることでできないか検討していく。

問 現在、整備を進めている新本庁舎市民交流棟内のカフェについて、障がい者の就労につながる場として検討してはどうか。

答 現在、山口市企業立地促進条例の改正内容の検討を進めている。障がい者雇用への優遇策については、障がい者の皆様にも、よりよい雇用の創出につながる制度となるよう関係部局と協議しながら検討していく。

問 山口市に誘致する企業に対する障がい者雇用への優遇策を講じてはどうか。

公明党
村上 満典
むらかみ みつのり

子育て 出産お祝い金制度の創設を！

○広域ネットワークの形成
○脱炭素先行地域づくり

●その他の質問

○出産お祝い金制度の創設を検討している。今後、安心して出産・育児ができる環境を整えていきたい。



問 少子化問題の解決策として、児童手当等の定期的な給付金や放課後児童クラブの充実等の多角的かつ長期的な支援が不可欠である。現在本市にはない出産祝い金など一時金給付も大きな効果が期待できると思うがいかがか。

答 出生動向基本調査による想の子ども数も数が増える理由として最も多いのが子育てや教育に関する経済的負担であり、本市では、これまで様々な経済的支援を充実してきた。出産祝い金等の取組については、出産された方に感謝の念を表す山口市らしいお祝い事業の創設を検討している。今後、安心して出産・育児ができる環境を整えていきたい。



ふるさと共創山口
宮川 英之

みやかわ ひでゆき



就労 高齢者の就労を支援

たい。

き、その能力を十分に発揮できる環境を整備していきたい。



問 企業における高齢者の就労促進や就労環境の整備に対する考え方と支援策について伺う。

答 高齢者への就労促進は重要な課題と認識しており、国の支援に併せて、関係機関連携のもと、各種支援に取り組んでいる。アクティブシニア層を対象としたセミナーの開催や企業面談会など、官民が連携した支援を重層的に実施することで、高齢者の雇用促進や就労環境の充実につなげるよう、働く側の雇用対策と事業者側の人材確保対策の両面から取り組みたい。今後、第二次山口市総合計画後期基本計画において、働く意欲のある高齢者が個々の事情に合わせた多様な働き方を選択できる環境を整備していきたい。



市民クラブ
山見 敏雄

やまみ としお



子育て 放課後児童クラブの終了時間延長について

ては検討していく。

問 平成27年6月定例会で運営時間の拡大について質問をし、その際、土曜日や長期休業期間中の朝の開所時間を30分早める旨の答弁があり、多くの保護者から喜びの声を聞き、今回は、課題として残されていた終了時間の延長について伺う。

答 他市の状況を踏まえながら、アンケート調査によるニーズ把握や、放課後児童クラブ運営団体の意向など、運営団体をはじめ、関係機関等との協議を行っている。いずれにしても、終了時間延長の実施については、利用料金の設定や人員確保といった課題はあるが、保護者の皆様にとっても安心して働くことができる環境が整うことから、終了時間の延長については検討していく。




高志会
伊藤 斉

いとう ひとし



産業 地域の特色ある漬物などの加工品生産者の支援を

たい。

き、地域の特色ある加工品の生産拡大につな

問 昨年6月の食品衛生法改正により、直売所などで販売している漬物などの製造が許可制となった。経過措置期間の2024年5月末までに施設整備が必要となる。費用を捻出できない場合、生産者が活動を断念し、直売所や道の駅で販売している個人製造の漬物などが姿を消すことになりかねない。支援が必要と考えるが市の取組を伺う。

答 本市では農林水産品を加工する施設の整備を支援するため「6次産業化等推進事業補助金」を設け、認定事業者や任意団体を対象に、施設整備や改修の経費の2分の1、150万円を限度に助成している。個人の生産者は複数名のグループを作ることで対象となる。制度を積極的に活用いただき、地域の特色ある加工品の生産拡大につな




日本共産党
大田 たける

おおた たける



定住 若者の定住促進に、楽しめる遊び場の確保策は？

問 若者が集えて遊べる場所がまちなかに多くあることも若者定住を促進する要素と考える。県農業試験場跡地も適地として検討してはどうか。確保方策について伺う。

答 まちづくりアンケートなどにおいて、都市的なサービス施設の立地や商業施設の充実などの意見をいただいております。本市の特性や地域資源を生かした山口らしい若者の遊び場の創出も進んでいる。今後、市民のニーズを踏まえ、地方中枢都市圏とは異なる山口らしい、あるいは地方都市にあって求め心力を有する遊び場機能を検討するとともに、県農業試験場の跡地利用についても、県との連携の下で検討を進めていく。

●その他の質問
○広報誌等の配布における地域の負担軽減について




ふるさと共創山口
植野 伸一

うえの しんいち



子育て 放課後児童クラブの待機児童解消へ取組強化を

問 放課後児童クラブの待機児童解消に向けた施設整備と人材確保について伺う。

答 各地域、小学校区の実情に即した方法を運営団体や地域の方々と協議し、施設整備にスピード感を持って取り組む。また、安定した人材の確保に努めるとともに、職員の処遇改善に取り組む。

安全 小・中学校内の設備に関する安全対策

問 令和3年の総点検で安全性に問題ありとされた校内設備への対応状況を伺う。

答 防球ネットの金属製支柱等、小学校6校、中学校2校で発見した8か所の不具合について、修繕不要の1か所を除き、緊急性の高いものから速やかに修繕を実施した。研究していく。




未来志行山口
桐山 俊哉

すげやま としや



福祉 障がい者の余暇活動・障がい者スポーツの振興



太陽ミュージアム（別府市）でのバスケットボール用車椅子体験

問 障がい者スポーツの普及促進、振興の取組と現状認識、スポーツ施設の環境整備について伺う。また、次期障害者計画での障がい者スポーツ振興の取組の位置づけと推進方策について伺う。

答 市報等での情報提供とともに、スポーツ施設でのユニバーサルデザイン化を推進するなど、障がい者スポーツに親しむ環境を整えている。また、アンケート結果において障がい者スポーツに関心のある方の割合は低く、さらなる普及促進が必要と認識している。今後は、現状認識を踏まえ、障がい者スポーツの普及啓発を積極的に展開し、共生社会の実現につなげていく。



未来志行山口
鳥養 祐矢

とりかい ゆうや



観光 中山間地域の観光交流拡大に向けて！

問 外国人市民への言語対応として、どのように取り組んでいるのか現状を伺う。

答 新たな取組として、相手に配慮した分かりやすい日本語による対応や情報発信の試行実施とともに、職員研修を開催するなど、やさしい日本語の啓発に取り組んでいる。

問 徳地地域ふるさとにぎわい計画の具体的な取組及び今後の展望について伺う。

答 第1期計画では、特産品販売所「南大門」、岸見の石風呂などの魅力ある拠点の機能強化に努めてきた。第2期計画では、活動拠点や主要な文化財として位置づける郷の整備、特産品振興、地域資源の発掘・構築の3つを主要施策として展開する。

●その他の質問
○外国人市民との共生策について




未来志行山口
大來 尚順

おおき なおゆき



行政 ユニバーサルツーリズムの推進!

問 ユニバーサルツーリズムの推進に取り組むことは、高質なおもてなしができる地域や施設として市のイメージアップにつながるだけでなく、多様な交流を生み出し、観光客の増加や地域活性化に寄与するとともに、市民にとっても、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながると考える。策定中の後期基本計画に位置づけるなど、積極的に推進していく必要があると考えるが市の所見を伺う。

答 安心して訪れることのできる観光地としての認知度を高めることが重要であり、観光客等へのPR方法、情報提供の在り方について検討、実践していく。あわせて、地域一体となった受入環境整備を進め、魅力的な観光地域づくりの実現に向け、引き続ききおール山口で取り組んでいく。

※ユニバーサルツーリズム
高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行づくり、観光地づくりを目指す国や自治体の取組



未来志行山口
馬越 帝介

まこし たいすけ



教育 未来を生き抜く力を持った児童生徒の育成を!

問 やまぐち子ども未来型学習プロジェクトの今年度の取組、YCAMと教育委員会の連携の優位性について伺う。

答 昨年度から実施している360°図鑑の全市展開を見据えモデル校を増やして取り組む。また、学校教育の分野のみならず、市内の文化財等、地域資源の情報を組み込んでいくことで、子供たちの地域愛の醸成につなげていく。今後、ICTの効果的な活用、ICTの有するYCAMが本市にあるという優位性を最大限に生かし、連携を図りながら先進的な教育事業に継続的に取り組む。

●その他の質問
○農山村エリアの取組
○脱炭素先行地域づくりの取組



やまぐち子ども未来型学習プロジェクト



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎

たけなか いちろう



文化 歴史文化資源の保存と活用!

問 山口市文化財保存活用地区計画に掲げる取組の進捗状況と今後の展望を伺う。

答 2つの重点事業について各主体が連携し実施するとともに、取組を効果的に実施するための仕組みづくりに重点的に取り組んだ。今後は、地域の魅力向上や郷土愛の醸成を図り、歴史文化資源を保存活用する機会を高めるべく、

問 多様な歴史文化資源を地域振興や観光交流に活用することが重要。今後の取組についての考えを伺う。

答 地域住民や団体が継続的に活躍することのできる環境整備等の取組を進める。

●その他の質問
○全国学力・学習状況調査



令和4年 山口新能 (山口市有形文化財 野田神社能楽堂)



未来志行山口
米本 太郎

よねもと たろう



行政 みんなが安心して使える市役所の環境整備を!

問 市役所本庁舎に来庁される方の多くが使用される1階の男性用トイレ個室にサニタリーボックスを設置し、お知らせの表示を行う必要がある。市の対応を伺う。

答 来庁者の利用頻度が高く、尿漏れパッドの交換にも比較的広さに余裕のある1階市民ホール前の男性用トイレ及び各階の多目的トイレに優先的に配置する。併せて、トイレ入口ドア等に設置の表示を行う。利用状況を検証しながら、各階男性用トイレへの設置も検討したい。このような取組を通じて、本庁舎だけでなく、各総合支所においても、誰もが安心して利用できる施設環境の整備に努める。

●その他の質問
○有害鳥獣被害対策
○不妊・不育症対策
○財政統計分析




公明党
栗林 正

くりばやし ただし



福祉 市民に身近な重層的支援体制の整備事業について

やまぐち「まちの
福祉相談室」
(市公式ウェブサイト)
お気軽に
ご相談ください



問 地域住民の複合・複雑化したニーズに対応する、断らない包括的な支援体制の整備について伺う。

答 地域における様々な主体が互いに協力・連携をし、主体的に地域課題に取り組み、地域力の強化や複雑化・複合化した課題やさまざまなニーズに対応する支援体制の整備が重要と認識している。重層的支援体制整備事業といった国の交付金を活用しながら、世代・属性を問わない包括的な支援と地域づくりに向けた支援を総合的に推進する。様々な支援関係機関、地域関係者などが課題を共有し、協力・連携をしながら包括的支援体制の構築を進め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現を目指していきたいと考えている。



県都創生山口
山本 貴広

やまもと たかひろ



都市 大内文化特定地域のまちなみを守り、生かす！



山口市都市核づくりビジョンに描かれた「堅小路筋」イメージ図

問 町屋が解体されるなど特定地域におけるまちなみも変化する中、県道山口旭線の国道9号より南側いわゆる「堅小路筋」について、今まさに整備する時期にきている。市道に移管を受け本市で整備することについて、市の考えとスケジュール感を伺う。

答 現在、大内大路・堅小路周辺では景観形成重点地区指定の地元調整を行っている。また県道山口旭線の修景整備については引き続き県へ強く要望する。特定地域全体の道路整備は県と市の役割分担について検討を行い、より良い整備となるよう協議を進め、早い時期にスケジュールについても明らかにしていく。



県都創生山口
倉増 賢治

くらまし けんじ



交通 高齢者の移動手段について

●その他の質問
○市職員の資質の向上

問 第二次山口市市民交通計画の見直し時期が近づいているが、中山間地域等の高齢者の移動手段の確保についての取組について伺う。また、通院する高齢者のタクシー料金への支援はできないか。

答 マイカーに頼りすぎないまちづくりを目指し、公共交通を支え次世代を見据えた公共交通体系の確立を図る中で、コミュニティタクシー、グループタクシー、生活バスの利用促進等に取り組んでおり、持続可能な生活交通をいかに守るかが大きな課題であると認識している。通院時等については、おでかけサポートタクシー料金、助成事業の普及啓発に努め、その利用率や利便性の向上に向けた検討を進め、さらに研究していく。



徳孤会
山本 浩二

やまもと こうじ



教育 “行かなくてもいい”電子図書館を選択肢に

●その他の質問
○地域金融行政について

問 市は、電子図書館サービスの導入推進を図るとされているが、費用面で通常の書籍よりも高額になるという課題もある。また現在、移動図書館ぶっくんがあるが、その役割が電子図書館に変わっていくとも考えられる。今後の運営について考えを伺う。

答 電子図書館の効果や留意する点について調査・研究するなど、サービス導入の可否について検討している。将来的には電子図書館が移動図書館の代替になり得ると考えられるが、現時点では利用者層が高齢の方が多く、紙の本を好まれ、スマートフォンやタブレット端末の利用率が低い傾向にある。ニーズを見極めながら、導入の可否について判断していきたい。



市民クラブ
野村 雄太郎

のむら ゆうたろう



経済 コロナ禍、物価上昇対策、農業支援策

問 様々な事業者で長らくコロナ禍、物価上昇の影響が現れてくる恐れがあるが、経済対策について市の考えは、

答 実情に対応した本市独自の支援策を切れ目なく実施してきた。今後も国、県等の支援策も踏まえ、関係団体や事業者の生の声を聴きながら、きめ細やかな本市独自の支援をスピード感を持って実施していく。

問 第一次産業に対しての様々な支援策は感謝しているが、農業従事者が農地・農業を守っていくことと考える本市の施策は、

答 原油価格や肥料代等の物価高騰については今後の価格や農業者への影響を注視し、国や県等の支援策も踏まえつつ、必要に応じて今年度または令和5年度予算における支援策を検討したい。



県都創生山口
瀧川 勉

たきがわ つとむ

都市 「地域のでんぱ」で、自動草刈りロボット始動!

問 阿東地域では携帯の電波が届かない場所がある。地域独自の電波を導入すれば携帯電話以外にも使用でき、様々な課題解決につながる可能性がある。例えば、自動草刈りロボットの稼働で日々の生活は楽になるが、いかがか。

答 農山村の情報通信基盤（光回線や5G）の整備は、国や県に要望している。阿東地域では、熱心に地域活動を行うNPO法人や事業者が主体となりデジタル技術を活用した先駆的な取組が行われており、通信環境整備や通信技術の導入が必要になる場合もある。目的や費用等を比較し検討する。

●その他の質問
▼哲学カフェの実施

阿東地域で動く、草刈りロボット

最燃焼
安河内 淳朗

やすこうち あつろう

行政 安倍晋三元総理大臣の国葬、県民葬の実施

問 安倍元総理大臣に対する市長の評価を問う。

答 憲政史上最長の内閣総理大臣在任中に、国のリーダーとして確かな功績を残され、国内外の評価も極めて高いものがある。国全体はもちろん、山口市の発展にも多大なる貢献をいただいたものと認識している。

安全
問 サル被害（小郡）について市の対策不足を謙虚に反省して、被害者の皆様にお見舞金を出したらどうか。

答 見舞金の支給について、現時点では考えていない。

●その他の質問
○地籍調査について
○道路環境（美化）について

県民葬、山口市内の献花台

高志会
有田 敦

ありた あつし

農業 生産資材高騰に対する農業者支援は

問 原油高や急激な円安による生産資材費の高騰は、自ら売価を決められない農業者の所得を減少させる。先行きが見えない状況にある中、農業者のよりどころとなる本市独自の支援に係る算定基準が必要と考えるがいかがか。

答 経済対策第12弾拡充版で農業者への支援を行った。このたびは県事業と一体となった支援を行うことで、手続きの簡略化を図り、農業者の負担軽減が可能となった。本市としては、地域経済を支える農業の持続的な推進に向け、肥料の価格動向等を見据えた水稻裏作の費用負担等、実態に即した対応を検討していく。今後、国の動向も踏まえながら、まずは本市に合う支援策の検討を進め、その中で農家の方に安心いただける基準を見つけていきたい。



県都創生山口
野島 義正

のしま よしまさ

医療

払い過ぎ医療費を対象者全員に知らせよ

●その他の質問
○教育委員会による半旗掲揚の通知について

高額療養費の支給申請の勧奨は、4か月毎、いずれかの月の超過額が5千円以上となり、申請書未提出の世帯にのみ通知をしている。県下他市町と比べ、本市のサービスが一番悪い。4千円超過の月が2回で8千円を払い過ぎて、市から通知は来ない。物価高で市民生活が大変な折、今すぐ改善すべきだ。

【答】システム上、職員の手作業が必要であり、対応に限界がある。すぐに対応することは困難だが、システム改修や事務処理の見直しの中で検討したい。



日本共産党
尾上 頼子



子育て

「子ども家庭総合支援拠点」での里親の活用推進

里親の支援と協力を得ながら子育て支援に取り組んでいきたい。

【答】子育て支援短期利用事業において里親活用を推進すること、里親家庭の理解促進と里親のスキルアップ等が期待される。また、子どもにとっても急激な養育環境の変化が少なく家庭的な養育環境の中で支援を受けることができる等メリットは大きく、県も社会的養育を推進している。本市でも積極的に里親活用を進め、当該事業のみならず、拠点と連携した地域ネットワーク機能として、里親の支援と協力を得ながら子育て支援に取り組んでいきたい。

※子育て支援短期利用事業

保護者の病気等その他の理由により家庭において一時的に児童を養育することが困難になった場合に、児童福祉施設等において児童をお預かりする事業

【問】

平成28年の児童福祉法改正で、社会的養護が必要な児童には、家庭と同様の環境下での養育の推進が掲げられた。里親委託率の向上が求められる中、里親を拠点のセーフティネットの一角に位置づけ、活用されてはどうか。

【答】

子育て支援短期利用事業において里親活用を推進すること、里親家庭の理解促進と里親のスキルアップ等が期待される。また、子どもにとっても急激な養育環境の変化が少なく家庭的な養育環境の中で支援を受けることができる等メリットは大きく、県も社会的養育を推進している。本市でも積極的に里親活用を進め、当該事業のみならず、拠点と連携した地域ネットワーク機能として、里親の支援と協力を得ながら子育て支援に取り組んでいきたい。



未来志行山口
坂井 芳浩



協働

市民活動の充実



自治会も運営の核となる地域のまつり

【問】市内の自治会加入率が減少している。市として、今後、どのような加入促進策をとられるのか伺う。

【答】自治会への未加入者増加の理由の一つに、自治会が、より自治会活動に集中しやすい環境となるよう、市からの依頼事項について、過度の負担とならないように内容の精査や時期等の調整に努める。また、新たに、集合住宅にお住まいで自治会に未加入の方を対象としたアンケートやヒアリングを実施し、その意見を参考に、不足している取組や改善策を検討していく。



未来志行山口
泉 裕樹



健康

受診勧奨で糖尿病重症化予防を！

●その他の質問
▼がん検診受診率
○デジタル行政の推進
○小中一貫教育
○湯田温泉の価値を創造すること

【問】コロナ禍で糖尿病の重症化リスクが注目されている。重症化予防の取組として、レセプト保存期間である5年間に對して受診勧奨をすべきと考え、所見を伺う。

【答】本市国民健康保険では、糖尿病性腎症重症化予防事業、検診異常値放置者への受診勧奨、糖尿病治療中断者への受診勧奨を行っている。議員提案の治療中断者への勧奨対象期間を5年間に拡大することについては、勧奨回数が増加し、受診率の向上が期待されるので、そのように対応できないか検討したい。



公明党
其原 義信



協働 社会ニーズに対応するNPO法人への支援策

は、他市の状況も参考に検討していきたい。



問 NPO法人への新たな支援策、支援の拡充についての認識を伺う。

答 NPO法人をはじめとした市民活動団体は、各団体が持つ専門性や知見を生かし、個人や家族、行政サービスの範囲だけでは解決が難しい問題に寄り添いながら解決を目指す協働のパートナーでもある。本市では市民活動団体を支援する市民活動支援センターさぽらんてを設置し、中間支援組織として活動支援をしている。必要な支援について、今後も機会を通じて各団体からの声に耳を傾け、本市の事業発注情報や活動資金の調達方法等運営支援に資する情報を積極的に案内したい。また、NPO法人の自助努力を越えた範囲における支援の在り方について、他市の状況も参考に検討していきたい。



議会からのお知らせ

視察報告

くわしくは、市議会ホームページに掲載しています。



市内で学ぶ

7/22 総務委員会



●消防本部にて
救急業務における感染症対策、高規格救急自動車、ドクターカーの運用、通信指令業務の共同運用に向けた進捗状況等について確認しました。



消防用監視カメラの映像確認

市民の安全安心を守るために

～山口市消防本部の取組～

●小郡訓練場にて
消防活動用重機とドローンの活用法を視察しました。



消防活動用重機の移動実技

装備の充実と隊員の不断の努力により、効果的に運用されていることが確認できました。

先進地に学ぶ

7/26～28 議会運営委員会



文書質問制度を中心とした議会改革の取組について

●千葉県千葉市 ●東京都足立区 ●東京都新宿区
文書質問の制度化に向けた検討の参考とするため行政視察を行いました。各議会の事例を今後の議会改革の取組に生かしていきます。



8/1～2 教育民生委員会



共生社会実現への取組について

●大分県別府市 ●社会福祉法人 太陽の家
●NPO法人 自立支援センターおおいた
合理的配慮の促進や障がい者雇用の推進に係る取組、障がいへの差別解消に係る取組、条例制定の経緯や背景等具体的な事例をはじめ、取組の最前線で活躍される当事者の方の御意見をお伺いすることができました。本市において共生社会の実現を目指す取組を促進する上で大変参考となる有意義な行政視察となりました。



議会の主な動き



6月

- 27日 市議会だより等編集委員会
(以下「編集委員会」)

7月

- 11日 会派代表者会議、編集委員会
- 12日 全国市議会議長会基地協議会 第103回
理事会
- 20日 全国市議会議長会基地協議会 中国・四国
部会定期総会(～21日)
- 21日 編集委員会
- 22日 総務常任委員会管内視察
- 26日 議会運営委員会行政視察(～28日)
- 29日 山口県市議会議員研修会

8月

- 1日 教育民生常任委員会行政視察(～2日)
- 8日 会派代表者会議
- 29日 議会運営協議会、執行部説明会

9月

- 5日 議会運営委員会
第4回定例会初日(～10月6日最終日)
- 6日 議会運営委員会
- 12日 編集委員会、広報広聴委員会
- 15日 議会運営委員会

10月

- 5日 山口県市議会議長会臨時総会
- 6日 議会運営委員会

おいでませ山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

▼受け入れ団体(7月～8月)6団体

- 7月14日 栃木県小山市議会
- 7月21日 愛媛県西条市議会
- 7月28日 静岡県浜松市議会
- 8月3日 愛知県豊橋市議会
- 8月4日 千葉県野田市議会
- 8月16日 北海道旭川市議会

行政視察を通じ、本市の取組や魅力をPRしていきます。

編集後記

やまぐち市議会だよりは、市民の皆さんに、より分かりやすい内容となるよう、編集委員全員で議論し作成しています。リニューアルした市議会ホームページもぜひご覧ください。市政をもっと身近に感じていただけるよう、ご意見もお待ちしています。(野村)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…11/16(水)まで 請願の受付…11/22(火)まで

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1	2	3
	本会議 (初日) 10:00～					
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算 委員会		
11	12	13	14	15	16	17
	教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～		予算決算 委員会 10:00～		
18	19	20	21	22	23	24
	本会議 (最終日) 10:00～					

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ホームページ
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になった感想やご意見をお寄せください。

住 所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電 話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

国宝「瑠璃光寺五重塔」に新たに整備された防火施設による放水試験の様子です。五重塔を火災等の災害から守り、大内文化とその優雅な姿を後世へつなげます。

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 野村雄太郎
委 員 大來尚順・鳥養祐矢・米本太郎・倉増賢治
野島義正・栗林 正・植野伸一・有田 敦
山本浩二・安河内淳朗

次号は2月1日です